## ◆◇◆◇ 10. Resources for the Future ◇◆◇◆

### (1) 活動の概要

米国の国際的環境NGOであるResources for the Futureは、1999年4月に"Climate Change and Forest Sinks: Factors Affecting the Costs of Carbon Sequestration"をディスカッションペーパーとして作成している。

### (2) 森林・土地利用分野における活動の概要

#### ①文献の概要

**Climate Change and Forest Sinks: Factors Affecting the Costs of Carbon Sequestration**

**気候変動と森林シンク：**
**炭素の吸収に関するコストに影響を与える要因**

**目次**

概要：
温暖化による気候変動の脅威から、$CO_2$の吸収手段として、森林の成長増大の可能性が注目されている。植林による炭素の吸収は比較的廉価な対策オプションであることから、本アプローチは、米国の及び国際的な気候変動に関する政策に関するひとつの明確な要素となっている。しかし、ある状況におけるそれらの見積りの感度はどのようなものであろうか？我々は、炭素吸収コストの感度に関して、管理活動、森林破壊、植林の樹種、農産物価格、割引率等の要素を考慮しつつ、クリティカルな要因を分析した。その結果、炭素吸収のコストは、もし樹木が定期的に伐採されるとすれば、天然の状態で生育する森林に比較して、高価なものになることが明らかになった。加えて、割引率が高くなれば限界コストが高くなり、このことは炭素の吸収量の変化が単調ではないことを示している。なお、森林破壊の防止は、植林地を増大することに比べて、廉価であることが明らかになった。

1. はじめに

2. 分析モデル
   2.1 土地利用の構造的･経験的モデル
   2.2 将来の土地利用のダイナミックシミュレーションモデル
   2.3 炭素の吸収に関するダイナミックシミュレーションモデル

3. 炭素の吸収のコスト
   3.1 植林方法の代替シナリオ
   3.2 ディスカウントレート
   3.3 経済環境

4. 結論